

## 【小学校 国語】

### 全国学力・学習状況調査 今治市の各教科調査結果の特徴

#### 1 平均正答率等について

本市の小学校国語の平均正答率は65%で、全国の平均正答率と比べ▼2.7%、県の平均正答率と比べ▼2.0%下回りました。「知識及び技能」において、「我が国の言語文化に関する事項」に特に課題が見られ、平均正答率は70.5%（全国74.6%、県75.1%）となっています。また、「思考力、判断力、表現力等」においては、「読むこと」に課題が見られ、平均正答率が68.0%（全国70.7%、県72.1%）と低くなっていますが、「読むこと」領域の人物像を具体的に想像することができるかどうかをみる問題の平均正答率は72.7%で、全国の平均正答率と比べ△0.2%上回りました。

#### 2 特徴が見られた問題

##### ③ 一四

問題： 原さんの学級では、日ごろから読んだ本を記録しています。次は、【原さんの読書の記録】です。

原さんは自分の記録を読み返し、気づいたことを□に入っています。□に入る内容として最も適切なものを、下の1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましょう。

##### 【原さんの読書の記録】

日付	題名	感想
4/10～4/11	大迫じいさんとガン	「いつまでも、いつまでも、見まもってました。」という最後の一文が心に残った。残雪への気持ちが変化するところに感動した。
4/21～4/25	星の王子さま	キツネが「心で見なくちゃ」と話したところが、形のないものの大切さを考えるきっかけになった。
4/27～4/29	はらっぱのおはなし 「オニグモじいさんの朝ごはん」	「わしが食って生きているのはな、朝日のひかりだよ」という言葉に心があたたくなった。シリーズの他の作品も読みたい。
4月のふり返り		

- 選択肢： 1 読書を通して、学校図書館や地いきの図書館の利用の方法を知ることができると気づいた。
- 2 読書を通して、科学的な事実について、疑問に思ったことを調べて解決できると気づいた。
- 3 読書を通して、自分が文章を書くときに役に立つ書き方を学ぶことができると気づいた。
- 4 読書を通して、自分の心にひびく言葉や今までになかった考えを見つけると気づいた。

正答： 4

本市の平均正答率は、(70.5%)、全国の平均正答率(74.6%) 県の平均正答率(75.1%) となり、全国・県を下回りました。この結果から、読書が自分の考えを広げることに役立っているというそのよさに気づきにくいという課題があると考えられます。

#### 3 これからの学習に当たって

読むことの学習が、読解力の向上や日常的な読書活動に結び付くようにするために、引き続き授業改善や朝読書に取り組んでいくとともに、「みきゃん通帳」や今治市電子図書館を活用する等、読書活動の充実を推奨していく必要があります。

物語等を読み、登場人物の人物像を具体的に想像するためには、より適切な学習課題を立てたり、読みの必然性を持たせたりなどする必要があります。その結果、登場人物の行動や会話、様子など複数の叙述を結び付け、その相互関係などを手掛かりにして、性格や考え方など、自分なりの読みができるようになっていきます。また、読書が自分の考えを広げることに役立つということに気付かせるために、本の中の言葉から自分を支える言葉を見つけたり、今までになかった考えを発見したりすることができるよう、その意義をより強く実感させる必要があります。